

2016年7月4日
米欧亜回覧の会

第3回国際シンポジウム開催について（案）

1. 事業名

グランド・シンポジウム「岩倉使節団の世界史的意義と地球時代における日本の未来像」－明治創業世代の「志」を体して－
Grand Symposium 「Significance of Iwakura Mission in the world history and Japanese Future Vision in the Global Era」

2. 事業の実施時期、場所

2016年12月2日（金）～12月4日（日）
学術総合センター（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）

3. 事業の内容及び目的

2016年に米欧亜回覧の会の設立20周年を迎えるに当たり、2001年の5周年記念、2006年の10周年記念に引き続き、3回目の国際シンポジウムを行う。我々の基本姿勢は、「歴史から学び」、「明治創業世代の志」を体して「現代の課題」に取り組むことである。その目指すところは、世界の「平和」と個人の「幸福」という根源的な問題をゼロベースから考究することであり、「地球時代にふさわしい思想」を紡ぎ出し、そこから「新しい日本のヴィジョン」を描き出そうとする点にある。

本シンポジウムの特別顧問： 芳賀 徹 保坂 正康 五百旗頭 真

本シンポジウムの顧問： 五百旗頭 薫 瀧井 一博

グランド・シンポジウム第1日目予定表

『岩倉使節団の群像—明治国家に何をもたらしたか—その「光と影」に学ぶ』

- 開場：09：30 （司会：岩崎洋三、植木園子）
- 開会：10：00 泉理事長開会の挨拶
- 10：20 基調講演『明治国家に岩倉使節団は何をもたらしたか』芳賀徹
- 11：00 岩倉使節団の群像と人物選択目的、各論者紹介 小野博正幹事
- 11：30 『久米邦武』（佐賀）実記編者 ウィリアム・スティーアール
- 昼食 12：00—12：40 （参加者全員に弁当と飲み物配布）
- 第一部会**（司会：岩崎洋三）
- 12：40 『田中光顕』（高知）大蔵・会計・宮内大臣・黒幕 小野寺満憲
- 13：10 『安場保和』（熊本）地方行政で近代国家に貢献 芳野健二
- 13：40 『渡辺洪基』（越前）明治国家のプランナー、赤間純一
- 14：10 『林 董』（幕臣）工部・地方自治・英国大使・大臣 岩崎洋三
- 休憩 14：40—14：55
- 14：55 『山田顕義』（山口）小ナポレオン・兵部から司法へ西脇美都絵
- 15：25 『団 琢磨』（福岡）三井財閥・日経連・工業倶楽部 桑名正行
- 15：55 『金子堅太郎』（福岡）民権運動・日米の懸け橋 吹田尚一
- 第二部会**（司会：植木園子）
- 12：40 『長与専斉』（長崎）西洋医学への道を開く 西井易穂
- 13：10 『田中不二麿』（尾張）教育令、司法卿、公使 大森東亜
- 13：40 『女子留学生』（幕臣の子ら）大山捨松、津田梅子ら 畠山朔男
- 14：10 『新島 襄』（安中）文部省理事功程、同志社創立 多田直彦
- 休憩 14：40—14：55
- 14：55 『吉原重俊』（薩摩）薩摩米国留学生 初代日銀総裁 吉原重和
- 15：25 『畠山義成』（薩摩）薩摩英国留学生 開成学校校長 村井智恵
- 15：55 『井上 毅』（熊本）大日本帝国憲法 教育勅語 大久保啓次郎
- 休憩 16：25—16：40

パネル・ディスカッション 16：40—18：00

『岩倉使節団の群像—明治国家に何をもたらしたか—その「光と影」に学ぶ』

モデレーター：五百旗頭 薫（東大教授）（16：40～＝光、17：25～＝影）

パネラー：芳賀 徹、スティーアール教授、泉 理事長、会員2名程度

（パネラーに光と影に就き、夫々に一つずつ提起して頂き、それを基に討論する。）

閉幕：18：00—18：20 理事長の閉会挨拶と二日目、三日目の案内。

グランド・シンポジウム第2日目予定表

午前の部

- 10:00～10:10 開会挨拶と会の進行について
- 10:10～12:30 セミナー「近代国家建設の理念と現実」
モデレーター 山田哲司
報告者 吹田尚一 持田鋼一郎
コメンテーター 瀧井一博、成田龍一

昼休み休憩

12:30～13:30

午後の部

- 13:30～16:00 セミナー「戦後・国家再建の軌跡と選択」
モデレーター 半澤健市
報告者 井出亜夫、森本淳之
コメンテーター 赤坂マリ、中島岳志
- 16:00～18:30 総括パネルディスカッション
「日本近現代150年に見る光と影」
モデレーター 泉三郎
キーノートスピーチ 保阪正康
パネラー コメンテーター上記4氏
会員より2名
- 18:30～20:00 懇親パーティー

グランド・シンポジウム第3日目予定表

12月4日(日) 「日本の未来像・そのヴィジョンを描く」

一ツ橋学術総合センター 講堂

10:00~10:15 開会の挨拶 泉 三郎 米欧亜回覧の会理事長

10:15~11:00 基調講演 五百旗頭 真 熊本県立大学理事長

第一セッション (世界の平和と日本の役割)

11:00~11:30 山折 哲雄 日本国際文化センター名誉教授

11:30~12:00 中谷 巖 三菱UFJコンサルティング理事長

12:00~12:20 当会のメンバー(1人)

質疑応答

12:30~13:20 昼食

第二セッション (仮題 日本の魅力を活かしつつ、一人一人が幸福になれる社会に向けて)

13:20~13:50 「新しい豊かさの構想」 広井 良典 京都大学こころの未来研究センター教授

13:50~14:15 「しなやかな和の日本列島へ」 藻谷 浩介 日本総合研究所調査部主席研究員

14:15~14:45 幸福を目指す市町村 (例 流山市長)

14:45~15:15 幸福を目指すNPO (例 「ホームレス状態を生み出さない日本へ」

(川口 可奈氏)、「那須野が原での自給自足エネルギー活動の実践」(星野 恵美子氏))

15:15~15:45 当会のメンバー(1~2人)

質疑応答

15:55~16:10 休憩

第三セッション (仮題 自然と伝統を活かした世界のモデル国へ)

16:10~18:00 パネルディスカッション (モデレーター 泉三郎 米欧亜回覧の会 理事長)

アレックス・カー(東洋文化研究家)、近藤 誠一(元文化庁長官)、原 研哉(武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科教授)、芳賀徹(東大名誉教授)、保坂 正康 (著述家 近現代史研究家)、五百旗頭 真(熊本県立大学理事長)、当会のメンバー(1~2人)

18:00~18:05 閉会の挨拶 (実行委員長 塚本 弘)